

## 「資産買い入れ策」の長期継続を事実上コミット

- 資産買い入れ策：実施期間を「雇用・物価の顕著な改善があるまで」に変更、長期化を示唆
- 政策金利・資産買い入れ額：政策金利は据え置き、資産買い入れ額は1200億ドル/月を維持
- 投資環境：低金利環境と緩やかな景気回復が併存、株式などリスク資産には追い風に

### ■資産買い入れ策を長期化し、金融緩和を強化

#### 【FOMC\*声明文とパウエルFRB\*議長記者会見】

- 1. 資産買い入れ策**：実施期間を従来の「今後数カ月」から「雇用・物価目標達成に向けて顕著に前進するまで」とし、長期継続を示唆。買い入れ額「米国債 800億ドル/月、MBS\* 400億ドル/月」を声明文に明記し、金利政策と並ぶ政策手段の扱いに。
- 2. 政策金利**：従来のゼロ金利政策を据え置き。フォワードガイダンスは「雇用最大化を達成し、インフレ率が一定期間、2%の目標を適度に上回るまで、現在のゼロ金利政策を維持することが適切」との文言を維持。
- 3. 景気見通し**：声明文では「景気の先行きは新型コロナウイルス次第」との文言を維持。パウエル議長はワクチン利用開始は評価する一方、足元の感染拡大で「今後数カ月は厳しい」と慎重な見方を示す。

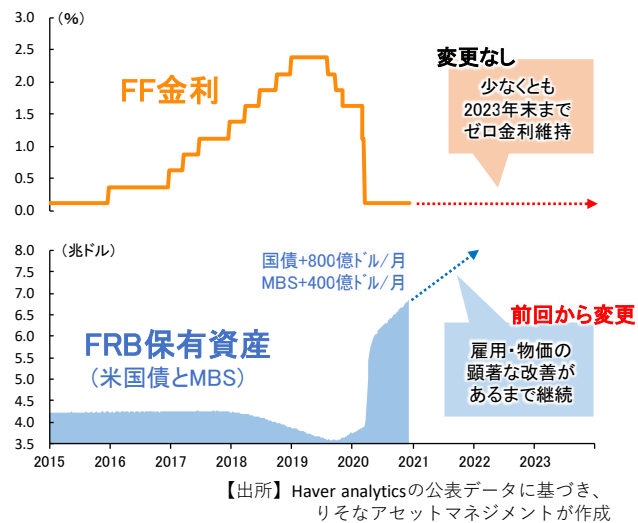
### ■金融・財政一体支援の長期化が明確に

**1)資産買い入れ策の格上げ**：FOMC声明文で、資産買い入れ額を明記した上で、フォワードガイダンスを付与し、資産買い入れ策を“危機時の一時的対応”から、“目標達成のための主要な政策ツール”として再定義しました。今回発表された経済見通し（中央値）において、「雇用」「物価」の2大政策目標の達成時期が2023年となっていることから、少なくとも2021年中は、買い入れ額の通減（テーパリング）は見送られると解釈されます。

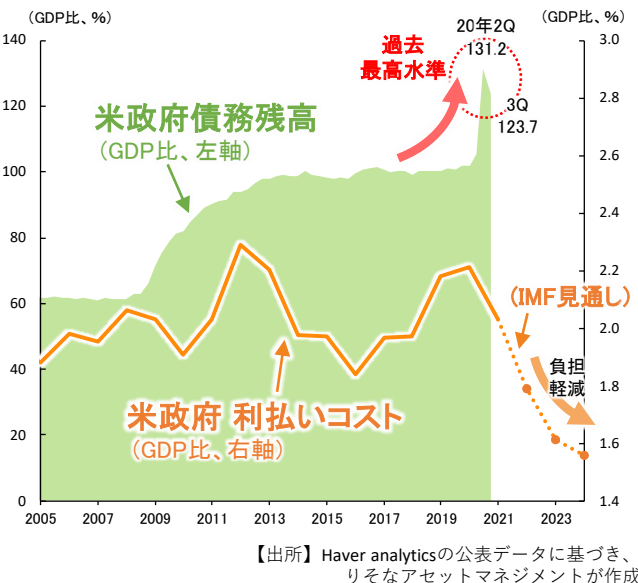
**2)年限長期化は温存**：前回FOMCで議論された買い入れ資産の年限長期化（ツイストオペ等）は見送られました。10年国債利回りが0.9%台前半で推移している現状から、この先、金利上昇圧力が高まった際の対応策として温存した形です。

**3)財政運営の支援**：パウエル議長は記者会見で米政府債務の持続性について質問され、「債務の規模は過去最大だが、利払いコストは持続的」と答えました。財政政策からの独立がFRBの建前ですが、超低金利政策と大規模な国債買い入れが、未曾有の財政支出を可能にしていることは明らかです。パウエル議長の回答は、金利上昇に対して、FRBが細心の注意を払う必要があることを言外に示しています。

図表1. FF金利とFRB保有資産の推移



図表2. 米政府債務残高と利払いコスト



### 〈用語説明〉

- \*FOMC … 連邦公開市場委員会（Federal Open Market Committee）。金融政策決定会合にあたる。
- \*FRB … 連邦準備制度理事会（Federal Reserve Board）。米国の中央銀行にあたる。
- \*MBS … 不動産ローン担保証券（Mortgage Backed Securities）。不動産ローンを裏付けとして発行される金融商品。

### 〈本資料に関するご留意事項〉

本資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。

投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。